

市民の目線で臨もう ◇ 市長・市議選挙

候補予定者招き公開討論会 3月31日(火)夜7時～市民会館ホール

4月に行われる明石市長・市議選挙で、4年間の市政を託せる間違いのない選択をおこなうために、政策提言市民団体である「市民自治あかし」は3月31日(火)夜、明石市民会館中ホールで市長選への立候補予定者を招き「公開討論会」を開催します。

これに先立ち、候補者選択のモノサシにもなる「市民が期待する政策」として「市民マニフェスト」案をつくりました。公開討論会までに広く市民の皆さんの意見を反映して「市民の政策」に仕上げるために、市内各地で下記の日程により「市民マニフェスト討論集会」を開催します。多数の市民の皆さんのご参加を期待します。

市長選挙にはすでに、明石市長選初の女性候補の増田幸美氏(53)と自民党県会議員の榎本和夫氏(58)が出馬表明しており、現職の泉房穂氏(51)も24日の予算市議会冒頭で再選出馬を表明する見込みです。3氏とも公開討論会への出席を約束しています。

市民マニフェスト2015年版で「市民の政策」を実現!

「市民マニフェスト」は4年前の市長選挙で、当時の市民団体「明日の明石市政をつくる会」が立候補予定者との公開討論会をおこなうにあたって策定し、討論会で立候補予定者に一つひとつの政策への対応を問い意見交換しました。討論会で市民マニフェストに全面的に賛同し実現を約束し当選した泉市長には昨年11月、市民自治あかしが「市民マニフェスト検証大会」を開催し、市長と4年間の市政について討論しました。

4月の選挙を控えて、市民自治あかしは昨年末から2011年版の市民マニフェストをバージョンアップし、2015年版の市民マニフェスト案をつくりました。

マニフェスト案は、自治基本条例に基づく「市民参画」と「協働のまちづくり」「情報共有」の市政運営の基本原則にかかわる姿勢に関する政策が14本、個別具体的な政策に関わる姿勢に関するものは、福祉、教育と子育て、都市整備や産業、財政と環境等に関わる政策が19本の計33本にまとめられています。

この案は今後市内各地で開催するマニフェスト討論集会で議論を重ね、修正加筆等をおこなったうえで最終版を確定します。

(裏面に市民マニフェスト案の概要)

3月初めから各地で討論集会 多数のご参加を!

「市民マニフェスト」を多くの市民に皆さんと共有するために、下記の通り討論集会を連続開催します。討論集会にはどなたでもご参加できます。無料。

- ① 3/3 (火) 13:30～16:30 大久保駅前の産業交流センター4階1A会議室
- ② 3/7 (土) 13:30～16:30 魚住市民センター会議室
- ③ 3/8 (日) 13:30～16:30 明舞団地 松が丘コミュニティ交流ゾーン(松が丘ビル1階の明舞ひまわり)
- ④ 3/13 (金) 19:00～21:00 二見港の「みなと記念ホール」会議室
- ⑤ 3/14 (土) 13:30～16:30 西明石駅南のサンライフ明石 2階会議室
- ⑥ 3/16 (月) 18:30～21:00 明石地区 勤労福祉会館 2階第1講習室

市民マニフェスト案は、上記の市民自治あかしのホームページからダウンロードできます。印刷物を必要な方は下記にご請求下さい。

確かな市長を選択するための市民マニフェスト

I 自治・参画の基本にかかわる姿勢

1. 市民力の向上を図る仕組み

- 施行後5年目に入る市民参画条例の抜本の見直しと、条例づくりへの市民参加の徹底を図る
- 「協働のまちづくり」の仕組みには、地域住民が全面的に参画する
- 人材発掘と政策提言の場として二百人規模の「明石市民会議」を創設する
- 検討委員会の答申に沿った住民投票条例を早期に成立させる

2. 行政運営の原則と組織の改革、職員の意識改革とモラルアップ

- 自治基本条例の見直しを行い、市政運営の原則と仕組みを検証し、抜本的な現状改革を進める
- “カラ割り”職員研修で市民との協働、縦割り行政の脱却を図り、職員の能力を発揮する

3. 情報の共有

- 情報共有を進めるために、意思形成過程の情報も含む等の情報公開条例の抜本改正を行う
- 市民が行政情報に容易に接することができる双方向での情報の受・発信システムの構築
- 市役所のHPを「見たくなる明石ネット」のようなコンテンツに改善する
- ネット活用教室をコミセンと自治会レベルで出前開催し、ネット活用の目標数値を立てる
- 市民センターで行政資料や情報の閲覧、配布、市民活動や生活情報の掲示、閲覧、配布も行う

II 個別具体的な政策にかかわる姿勢

1. 安心して住み続けられる福祉のまちづくり

- 障害者の就労と地域での自立した暮らしを支えるための住まいの確保
- 介護と福祉、医療が連携して高齢者と障害者の生活をきめ細かく支援する仕組みを構築し、行政のサポート体制を確立する
- 地域福祉計画を小学校区単位に再構成し、協働のまちづくり組織と連携する
- 都市内の“買い物過疎”解消計画を策定し、商業者とコミュニティーが一体になって解決する

2. 地域で担う教育と子育て文化を高めるまちづくり

- 学校と地域との結びつきを強化する
- 子育て支援や学童保育も地域の自律的な活動を強め、連携と充実を図る

3. 明石らしい環境を生かした生活と産業の都市づくり

(1) 「海の玄関」明石港の再生と中心市街地の活性化

- 明石港一帯と周辺の利用、再整備。砂利揚げ場の移転・撤去と跡地の活用
- 人と車の淡路航路を確保・強化し、安定した運航を持続させる施策の推進
- 明石らしさを回復する明石駅前中心市街地の整備
- 明石駅前一帯のゴーストタウン化を避ける対策と駅前再開発計画の事業内容の見直し

(2) 農・水産業を生かした明石らしい産業のまちづくり

- 漁業の振興と農地を活かした新しい一次産業を明石の重要な産業とし、雇用吸収力を高める
- 生産、加工、流通、消費(飲食)、アミューズメント、食育も連動した“海業”のまちづくり
- 市民農園を組織的に導入し、後背地の農地も結んで食と暮らしの一体化都市をめざす

(3) 財政再建と環境立市(志)の都市づくり

- ハコもの事業の凍結と、市民参加で必要性を洗い直し、徹底的に見直す
- 市街地の遊休土地や施設などの遊休資源を徹底的に利・活用する方策を推進する
- ゴミゼロエミッションの推進

(4) 明石の自然環境を豊かにする

- 生物の多様性を維持・創出するための水と緑・海洋の一体的整備を進める
- 生物多様性への理解と環境教育・学習の場の提供を市民協働で進める
- 希少野生動物種の実効性のある保護策。貴重な里山である松陰新田の保全等